

ホットな明かりに包まれて



「むろらん夢キャンドル」が中島町の向陽公園周辺で行われた。小学生などによる手作りペットボトルキャンドルたちの灯りがまちを温かく包み、高さ8メートルのシンボルツリーに飾られたイルミネーションがキラキラと輝き、冬の公園はロマンチックいっぱい。
(12月23日)

まちかど トピックス

自作自慢のロボットで挑戦



室蘭工業大学でロボットサッカーコンテストが開催された。市内のほか、札幌や小樽などから、小学生から大学生までの55チームが参加。工夫を凝らした、選手自慢の自作ロボットが勢ぞろい。青少年科学館の中学生チームが、4年連続の優勝ゴールを決めた。
(1月6日・7日)

みんなで迎えた新年そして初日の出



若者たちの自主企画による年越しイベント「白鳥大橋カウントダウン」が、今年も道の駅みたら周辺で開催。参加者3千500人が「3、2、1」と声を合わせてカウントダウン。新年の幕開けをクラットカーで祝った。
(12月31日)

初夢つかみ取り



むろらんバイ(賞)地域運動として、昨年12月に行われた「全市統一年末大売出し」の、現金つかみ取りが逢峯殿で行われた。1万円札や2千円札、100円玉のつかみ取りで、220人のラッキーな参加者が初夢をつかんだ。
(1月7日)



市内の景勝地には初日の出を拝もうと、4,700人が訪れ、水平線上の雲の合間から顔をのぞかせた太陽サンに、歓声をあげていた。地球岬とマスイチ浜では、ボランティアのみなさんがホットドリンクで訪れた人を暖かく出迎えた。
(1月1日)